

第5回 摺上川ダムに沈んだ遺跡(茂庭)

福島市飯坂町茂庭地区に摺上川ダムを建設するにあたって、水没地区内に分布する遺跡を記録に残す目的で、発掘調査が行われました。遺跡の多くは縄文時代のむらの跡で、調査の結果、縄文時代早期から晩期(約9,000年から3,000年前)まで、集落の移り変わりを繰り返しながら、人々が生活していた跡が確認されました。

茂庭地区を代表する獅子内遺跡(前期、6,000年前)では、100軒を超える竪穴住居跡が見つかりました。下ノ平E遺跡(前期)からは、山の斜面に掘られた罌を捕まえるための落とし穴が400個も見つかっています。

茂庭の豊かな自然は太古の昔から人々の暮らしを支えてきました。そして今、ダムの底には縄文時代の多くの遺跡が沈んでいます。



ダムの下には約20箇所の遺跡が沈んでいます

川沿いの高台は縄文人の狩りの場でした(下ノ平E遺跡)

★★ 次回は、月崎A遺跡(飯坂町)を紹介します。おたのしみに。★★

用語解説

「遺跡と史跡」

遺跡とは、過去の人類の活動の痕跡、遺構や建物の場所及びそのもの全てを指します。

一方、史跡は、その遺跡の中から、国や地方自治体(県、市)が指定した遺跡のことを指します。

福島市内の国史跡は宮畑遺跡と和台遺跡(飯野町)の2件、県史跡は西原廃寺跡(湯野)と飯野白山住居跡(飯野町)の2件です。

史跡の中でも各時代を代表する重要な史跡は「特別史跡」と呼ばれ、岩宿遺跡、三内丸山遺跡、吉野ヶ里遺跡、高松塚古墳などがあります。

「縄文時代」

縄文土器を製作・使用した時代で、約12,000年前から2,300年前頃までとされ、その時代の文化を縄文文化と呼んでいます。その特徴は、土器の出現や竪穴住居の普及、どんぐり類を主食とした採集生活などがあげられます。

土器の形や文様の変化に基づき、6つの時期(草創期:約12,000年前から、早期:9,000年前から、前期:6,000年前から、中期:5,000年前から、後期:4,000年前から、晩期:3,000年前から2,300年前)に区分されています。

平成24年度じょーもぴあ宮畑サポートネットワーク総会において組織が改編となり、今後はじょーもぴあ・遺跡の案内人とじょーもぴあ活用推進協議会が連携をとりながら活動を進めていきます。案内人では、運営委員会を中心に3つの委員会と会員全員が活動に参画し、福島市との協働により史跡宮畑遺跡の保存、福島の歴史と文化をもとにした、情報発信、公開活用を図り、福島の地に生きた縄文人の生活を伝えて参ります。

編集後記

国史跡 宮畑遺跡



発行:じょーもぴあ・遺跡の案内人 編集:じょーもぴあ・遺跡の案内人 だより編集班

事務局:福島市教育委員会 文化課 960-8601 福島市五老内町3番1号 024-535-1111 内線5375・5376

★「じょーもぴあ」とは「縄文時代を身近に感じられるユートピアのような場所」の意味です。

じょーもぴあ・遺跡の案内人が発足しました

新しい組織の活動が始まりました。

「じょーもぴあ宮畑サポートネットワーク」が新たに2つの組織へ生まれ変わりました。

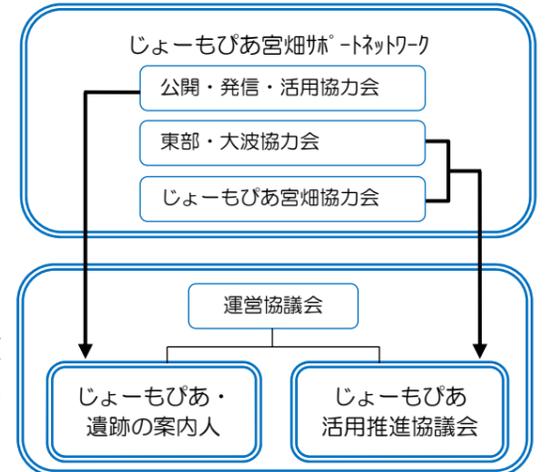
◎「じょーもぴあ・遺跡の案内人」

じょーもぴあ宮畑の開園後に、施設で来園者への案内ガイドや体験補助を行います。

◎「じょーもぴあ活用推進協議会」

観光振興やまちづくりをテーマに、将来的には物産販売や朝市、おもてなし講座、地区イベントなどを行います。

○ 今後は、市民との協働により、じょーもぴあ宮畑を活用するため、2つの組織の連絡調整を図る「運営協議会」を設置する予定です。



じょーもぴあ・遺跡の案内人はどんな団体なの？



設立総会の様子(5月28日)

平成24年5月28日「じょーもぴあ・遺跡の案内人」が発足しました。

じょーもぴあ・遺跡の案内人は、現在38名の会員が、史跡公園じょーもぴあ宮畑(平成27年度開園予定)の開園に向けて、施設の特徴を活かした活用事業や情報発信を行い、宮畑遺跡や縄文時代の魅力、福島歴史や文化をPRする団体です。



案内人会長 あいさつ

じょーもぴあ・遺跡の案内人の発足にあたり、会長に就任いたしました野田町在住の黒澤宣昭です。史跡公園「じょーもぴあ宮畑」の運営につきましては、市民の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

さて、史跡公園の開園は平成27年度の予定です。そのため、案内人一同、ご来園いただいた方々に、優れた縄文文化に親しんでいただくため、研修に努めて参ります。開園の節は、市民の皆様のご来園をお待ちしております。

◆次号(第7号)では「じょーもぴあ活用推進協議会」について紹介します◆

## 案内人の活動紹介

### じょーもぴあ・遺跡の案内人はどんな活動をしているの？

じょーもぴあ・遺跡の案内人では、平成27年度のじょーもぴあ宮畑開園に向けて、案内ガイド、体験サポート、ワークショップ、情報発信、スキルアップ研修などを行ないます。

平成24年度は活動に必要な様々な研修を実施しています。

#### 案内ガイド

じょーもぴあ宮畑の開園に向け、園内の掘立柱建物や露出展示についての研修や案内ガイドの練習をしています。



じょーもぴあ宮畑まつりでの案内ガイド

#### 体験サポート

縄文探検隊や地区行事で、勾玉作り、弓矢体験、火おこし体験など縄文体験の補助を行っています。



縄文探検隊の活動補助  
(縄文ポシェット作り)

#### ワークショップ

一般市民を対象とした縄文のもの作り講座です。今年度は、8月の「土偶作り」、縄文時代の衣をテーマとした「アンギン編み」講座（12月から2月）を実施します。



皆様、ぜひ参加して下さい。

ワークショップ  
(ミニチュア土偶作り)

#### スキルアップ研修

会員の知識向上のために、県内施設の視察研修、じょーもぴあ宮畑周辺の植物観察会などの研修を企画しています。



露出展示の発掘調査を見学しました

## お知らせ

### ワークショップ 参加者募集 「土偶を作る～私の守り神～」

本物の土偶に触れながら、自分だけのオリジナルの守り神「土偶」を作ってみませんか。

- 開催：平成24年8月25日(土)10時
- 場所：AOZ大活動室4（工芸室）
- 対象：小学校5、6年生 20名（先着）
- 申込：文化課に電話、FAXにより申込。

### じょーもぴあ・遺跡の案内人 新規会員募集

文化課、各支所、学習センター、市ホームページの申込書に必要事項を記入の上、お申込みください。

- 詳細は市政だより8月号をご覧ください。
- 締切：平成24年9月28日（金）
- 申込・問合せ：文化課 525-3785  
FAX 536-2128



## 整備の様子をのぞいてみよう 第5回

### いつ頃オープンするんだろう？

平成27年度の全面開園に向けて、史跡公園の整備を進めています。



子供用遊具

縄文の川の復元

公園北側

除染工事

南側駐車場

公園南側

敷石住居の復元

### 去年はどんな整備をしていたのかな？



①

○露出展示（発掘された遺跡の本物の様子を見られる施設）の発掘調査、遺跡面の安定化処理

○こどものお墓である「埋甕」の復元【写真①】

○「敷石住居」の復元（石敷きの住居で荒川の石を使用しました）

○駐車場予定地の発掘調査（7世紀頃古墳が見つかりました）【写真②】

○南側駐車場（普通車82台、大型バス3台）工事

○公園北側部分の除染工事

○北側造成、造園工事

○縄文の川の復元



②

◀赤線の範囲が古墳です

### 今年は何を準備をするのかな？

○公園南側の除染工事

○直径70cmの柱を使った掘立柱建物、土ぶき屋根の竪穴住居の復元

○露出展示施設の雨水浸入対策工事

○公園北側の造園工事

○北側の駐車場（普通車60台）工事

#### じょーもぴあ宮畑の環境放射線測定値

1.61マイクロベクレル/時間（芝生の広場、地上1m、7月10日）

市ホームページにも測定値を掲載しています。

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/>

◆ 8月下旬から宮畑遺跡（公園南側 37,500㎡）の除染工事が始まります。 ◆

